

## アメリカ環境保護庁EPAによる空気の質分類

空気の質レベル	PM <sub>2.5</sub> ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	説明	WHOガイドラインに基づく 全死亡増加率 (%)	
			急性曝露	慢性曝露
<b>緊急事態</b> Hazardous	<b>251-</b>	心臓や肺の悪い人、お年寄りの病状が著しく重くなり、死亡率も著しく高まる。一般の人々に重い呼吸器症状が現れるおそれあり。	<b>25-</b>	<b>150-</b>
<b>大いに危険</b> Very unhealthy	<b>151-250</b>	心臓や肺の悪い人、お年寄りの病状が一層重くなり、死亡率が一層高まる。一般の人々の呼吸器疾患も明らかに増加する。	<b>15-25</b>	<b>90-150</b>
<b>危険</b> Unhealthy	<b>66-150</b>	心臓や肺の悪い人、お年寄りの病状が悪化し、一般の人々に呼吸器症状があらわれる。	<b>6-15</b>	<b>36-90</b>
<b>弱者に危険</b> Unhealthy for sensitive groups	<b>41-65</b>	感受性の高い者に呼吸器症状があらわれる。心臓や肺の悪い人、お年寄りの病状が悪化し、死亡率が高まる。	<b>4-6</b>	<b>24-36</b>
<b>許容範囲内</b> moderate	<b>16-40</b>	特別感受性の高い人に呼吸器症状があらわれる。心臓や肺の悪い人、お年寄りでは病状が悪化するおそれあり。	<b>1-4</b>	<b>6-24</b>
<b>良好</b> good	<b>0-15</b>	空気の質は良好であり、健康危険はほとんどない	<b>0</b>	<b>0</b>

## 日常生活の受動喫煙による全死亡リスク増加度

- ・ 喫煙家庭のPM<sub>2.5</sub>は非喫煙家庭よりも30 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 多い
- ・ WHO空気の質ガイドラインによれば、PM<sub>2.5</sub>が30 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 増えると全死亡は18%増える
- ・ 家庭の受動喫煙により14%（上海）、17%（ニュージーランド）、34%（香港）全死亡が増えていた
- ・ 受動喫煙による全死亡増加率に関して、PM<sub>2.5</sub>による予測と疫学調査成績が合致した
- ・ 以上より、家庭の受動喫煙は受動喫煙者の10～20%を早死させると結論できる

10万人あたりの  
生涯死亡リスク

残留農薬基準	アスベスト敷地境界基準	食品中ダイオキシン
0	6	100
■	■	■

日常生活の受動喫煙  
10000~20000

水俣病

薬害エイズ

アスベスト

受動喫煙